

ExtraHopは、アラスカ航空の25のビジネスクリティカルなアプリケーションの動作保証に貢献!

ExtraHopはトラブルシューティング作業を加速し、厳しいIT環境内の潜在的な問題についてプロアクティブに警告!



**EH6000アプライアンス
10G x 2ポート**



● カスタマー・プロフィール

アラスカ航空は第8位の米国の航空会社です。また、米国西海岸の主要な航空会社であり、年間の旅客数は1,600万人を超えています。米国における収益性の高い航空会社は3社しかありませんが、アラスカ航空はそのうちの1社です。

アラスカ航空は、業界では、コックピットと地上の両方における技術革新企業として知られており、ウェブ・チェックインとオンライン・チケット販売/予約を米国で初めて提供した航空会社です。

● メリット

ExtraHopシステムの導入後、アラスカ航空のITチームは、問題の特定とトラブルシューティングがはるかに容易になり、スピードアップしたことに加えて、アプリケーションとネットワークの両方のパフォーマンスの持続的かつ着実な改善を見続けています。

ExtraHopシステムは、多くのメリットを提供しています。

- ・すべての階層にまたがる、統一されたリアルタイム・ビュー
- ・高オーバーヘッドのシステム全体にわたるデータベース・プロファイリングが不要
- ・潜在的な問題についてのプロアクティブな初期警告
- ・容易なトラブルシューティングおよびアプリケーション・サーバやデータベースのパフォーマンス・チューニング

● 状況

現代の航空会社はテクノロジーに大きく依存しており、航空会社向けのITを運用するには、ほぼ24時間体制で独特の問題を解決する必要があります。アラスカ航空では、航空機の重量やバランスから数十億ドルの収益を生むeコマースアプリケーションまでのすべてを管理する、25を超えるアプリケーションをビジネスクリティカルなものとして指定しています。

これらのアプリケーションは、乗務員のスケジュール、手荷物の輸送、燃料の要件、整備、運行のあらゆる面を処理しています。これらのアプリケーションは、どのくらいの重量が輸送されるか、1日200便のフライトにおいてその重量がどこに分配されるかも追跡しますが、これらは飛行機がゲートを離れる前に正確に計算されなければなりません。この複雑性を解決するため、アラスカ航空のティア1データセンタは米国内の各空港、ならびにアラスカ州ノームからメキシコのシワタネホまでの遠隔地と接続されています。

アラスカ航空のアプリケーションの多くは、非常に拡張性が高い3階層アーキテクチャで実行されています。アプリケーション配信コントローラは1階層のウェブ・サーバに負荷を分散し、1階層のウェブ・サーバは1階層のアプリケーション・サーバおよびデータベース・サーバに依存しています。複数のネットワーク・コンポーネント、セキュリティ・デバイス、ペタバイトのストレージ、認証サービスおよびディレクトリ・サービスがこれらの階層間でレイヤー化されています。

デバイスおよび階層の数は、膨大な数の可動部品を意味し、この複雑性が絶え間ない障害を引き起こすこととなります。一部の企業はある程度のレベルの障害をあえて受け入れますが、アラスカ航空は標準以下のパフォーマンスは容認しません。

● ソリューション

ExtraHop Networksはシンプルでバリュー・プロポジションをアラスカ航空に提案しました。アラスカ航空の運用規模を考えると、効率性のわずかな増加でさえも、かなりの収益増加や、定時運航などの顧客に影響を及ぼすメトリックの改善につながることになります。アラスカ航空のITは業界トップの位置にありますが、ITパフォーマンスをさらに改善することが可能です。

アラスカ航空は、各アプリケーションを統一した全体として扱う必要があることに気付いていました。たとえば、オンラインでチケットを購入しようとしている顧客は、ブラウザのエラーがデータベースの問題によるものか、ネットワークの問題によるものかを気にしません。顧客はただ、チケットを購入したいだけなのです。アラスカ航空がパフォーマンスを測定・改善することを可能にするには、すべての階層にまたがってトランザクションをモニタリングする必要がありました。

ExtraHopシステムを使用する前に、アラスカ航空のITチームは、ITチームが介入する前に問題が発生していることを認識しなければなりません。次に、ITチームはネイティブのオペレーティングシステム・ツールを使用して、Informixデータベース・サーバを実行しているインフラの状態を手作業で評価しようとしました。よりいっそう具体的なトランザクションレベルのデータを得るために、ITチームは、パフォーマンス・オーバーヘッドが高いために(プロダクション環境では行うことが禁止されているステップである)データベース・プロファイリングを実施しなければなりません。

ExtraHopシステムは、すべての階層にまたがる統一ビューを提供する唯一のソリューションです。

ExtraHopデータベース・モジュールにより、パッシブかつオーバーヘッドがない観点から、ネットワークとアプリケーションの両レベルのメトリックを記録するために再構成されたトラフィックを用いて、アラスカ航空のInformixデータベースを継続的に観測することができました。

この情報は数えきれないほどの時間を節約し、新たな問題についての初期警告を提供し、システム全体におけるデータベース・プロファイリングを必要とすることなく、遅延と間欠的なエラーの根本原因を明らかにしました。

● 拡張性

アラスカ航空は、初回デモの3週間後にExtraHop 2000アプライアンスを購入しました。

ただし、ExtraHop 2000は1つの1Gbps VLANにしか対応していませんでした。これはアラスカ航空のチームがモニタリングしたいと思っていた重要なトラフィックの約10分の1であったので、アラスカ航空はすぐに、より拡張性が高いExtraHop 5000アプライアンスを購入しました。ExtraHop 5000を用いることで、アラスカ航空は運用に不可欠であるすべてのアプリケーションとサーバを含む10Gbpsの解析トラフィックにまでカバー範囲を拡張することができました。

● メリット

アラスカ航空のITチームによるExtraHop 2000システムおよびExtraHop 5000システムの実装は、業界のリーダーがこれまでは実現不可能であったレベルのITパフォーマンスと信頼性をどのようにして実現することができるかを実証しています。

ExtraHopシステムを用いることで、アラスカ航空のITチームは他社をしのぎ、オペレーショナル・エクセレンスを達成し続けることができました。

「ExtraHopはアラスカ航空にとって非常に有用であることが証明されています。当社の環境では、他のいかなるソリューションも、ExtraHopシステムが行う方法でInformixを解析することができませんでした。」

ExtraHopにより、以前であれば突き止めることが非現実的または不可能であったいくつかの問題を迅速かつ正確に診断することが可能になりました。当社はExtraHop Networksから受けているサービスとサポートに非常に満足しており、ExtraHop Networksを貴重なパートナーと考えています」

クリス・クチュェラ(Kris Kutchera)、アラスカ・エア・グループ(Alaska Air Group)
インフォメーション・テクノロジー担当バイスプレジデント



テクノロジーパートナー



実績の一部



● ExtraHop Networksについて

ExtraHopは、ITをよりアジャイルかつプロアクティブにするのに必要なリアルタイムのオペレーション・インテリジェンスを提供します。アドビ(Adobe)、アラスカ航空(Alaska Airlines)、コンカー(Concur)、エクスぺディア(Expedia)、マイクロソフト(Microsoft)を始めとする世界で最も成功しているIT組織は、ExtraHopを使用して50万台以上のデバイスを管理し、毎日1兆を超えるトランザクションをモニターしています。